

鋼板巻取機国内トップシェア

北九州地区

創立70周年記念祝賀会開催

(株)植田製作所

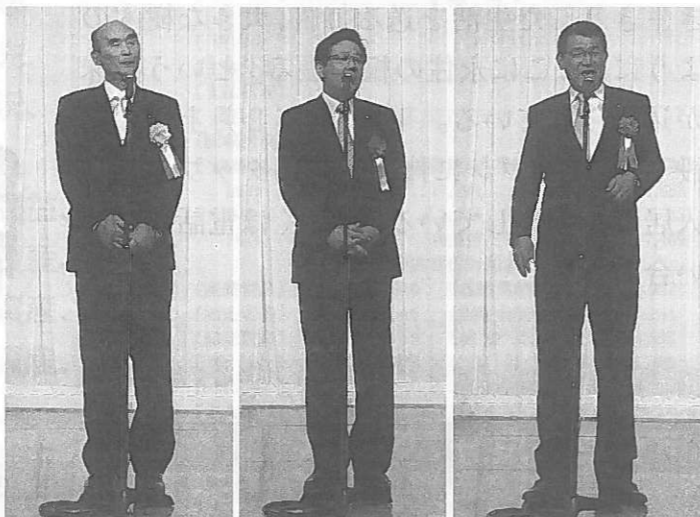
家電や飲料缶、自動車のボディ、住宅やビルなどに使用される圧延された鋼材を巻き取るテンションリールと、巻き戻すペイオフリール製造において国内シェア80%を維持する(株)植田製作所(北九州市若松区、濱小路 兼生社長)は10月8日(土)、リーガロイヤルホテル小倉4階ロイヤルホールにて、創立70周年記念祝賀会を開催した。



会場の様子

【70年の歴史紹介と社長挨拶】

開会に先立ち、スクリーン上映にて昭和21年の創立以来、(株)植田製作所の歴史を4代目にあたる現社長の時代まで紹介。RKBTVの「志・情熱企業」で高性能リールメーカーとして世界トップクラスの企業として評価されていることも取り上げられた。



濱小路 兼生社長 北橋 健治北九州市長 中尾 正幸県議会議長

そして、横尾総務部長が開会の言葉を述べた後、濱小路社長があいさつ。社長は勤続50年、社長就任以来10年が経過している。「過去幾多の困難を乗り越え、こうして会社創立70周年を迎えられたことは感慨深く、このように多くの参加をいただき大変ありがたいと思います。今後もオンリーワン企業を目指して精進していきたい」と述べた。

【来賓・株主代表祝辞】

北橋北九州市長は「北九州市の会社で国内シェア80%という企業はめったにない。熟練・卓越した技術者を認定した北九州マイスターに平成27年植田製作所の方が選ばれており、技術力が高い。また濱小路社長には北九州市環境衛生総連合会会長を引き受けてもらっており、地域貢献もされている。北九州市の名門地場企業として、ますます興隆していただきたい」と述べた。

福岡県議会議長の中尾 正幸氏は「出身が若松区である私にとって植田製作所さんは自宅すぐ近くにあり、なじみが深い。長年の歴史があり70周年の重みを感じる。今後ますます若松を引っ張ってもらいたい。更なる発展を祈念します」と祝辞を述べた。

株主代表として日本センデミア(株)(東京都千代田区)の広瀬社長が「圧延機メーカーの私どもにとって植田製作所さんはなくてはならない企業。頑丈で高品質なテンションリールを今後も造っていただきたい」と述べた。

【祝舞・鏡開き・乾杯】

廣岡 泰子氏による黒田節の演舞がなされた後、鏡開きが行われた。参加者は来賓の北橋北九州市長、今永副市長、中尾県議会議長、加藤北九州銀行会長、小松若松区長、三代 英昭弁護士、辻 正喜弁護士、(株)片木アルミニウム製作所社長、日本センデミア(株)社長など総勢18名。その後、(株)植田製作所 二代目社長の三代 英昭氏による乾杯の発声となされ、出席者全員が立ち上がって乾杯した。



乾杯

祝電披露の後、余興では、二胡奏者の帯金 真理子氏とシンセサイザー奏者の森 孝良氏による演奏が進行。その最中、予定外のハプニングとして(株)植田製作所労働組合から濱小路社長に勤続50周年のお祝いとして花束贈呈があった。濱小路社長は「良いことも悪いこともあったが、労使協調して長年やってきました。皆さんの協力があってこそ、ここまでこられた。今後お互いに切磋琢磨し会社の発展のため精進していきたい」と感謝の言葉を述べた。



余興

今回の祝賀会には(株)植田製作所社員も含め来賓、取引先など合計165名が参加。各々が名刺交換やあいさつをし、歓談が絶えることなく続いた。最後に同社山中常務が閉会の言葉を述べ、盛況裏に閉会した。

【(株)植田製作所 概要】

〒808-0027 北九州市若松区北湊町4-1
TEL 093-761-1431
FAX 093-751-0233
http://www.ued-mfg.co.jp/

設立：昭和21年12月
資本金：4,700万円
代表者：濱小路 兼生